



UDRW G2

Application Manual

Rev. 1.01J

■ Revision History

Revision	Date	変更区分	ページ	変更内容
1.00	2006/03/29			
1.01	2006/04/11	変更		秘匿領域呼称変更
1.011	2006/05/09	変更		5. 量産時に必要な書き込みデータについて ファイル名規定修正

- 適用 -

本ソフトウェアマニュアルは、「UDRW G2 Starter Kit」に含まれる内容に適応されます。

本ソフトウェア使用許諾については、UDRW G2 Starter Kit の使用に関する約款をお読みください。

UDRW G2 本体の仕様・マニュアルは、本 CD-ROM 付属の「**UDRW G2_Device_Specifications**」をご参照ください。

- NOTE -

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の本仕様書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

－ 目次 －

1	ソフトウェア概要	4
1.1	パッケージ内容	4
1.2	システム要件	4
1.2.1	Writing Software / SetupUtility / 固有 IDReader のシステム要件	4
1.2.2	UD-RUN のシステム要件	4
1.2.3	Windows 98SE Driver のシステム要件	4
2	Writing Software について	5
2.1	UD Creator について	5
2.1.1	概要	5
2.1.2	ソフトウェア構成	5
2.1.3	画面説明	6
2.1.4	使用方法	7
2.2	UD Update について	11
2.2.1	概要	11
2.2.2	ソフトウェア構成	11
2.2.3	画面説明	11
2.2.4	使用方法	12
3	SetupUtility について	13
3.1	概要	13
3.2	ソフトウェア構成	13
3.3	画面の説明	14
3.4	使用方法	17
4	固有 ID リーダーについて	18
4.1	概要	18
4.2	ソフトウェア構成	18
4.3	画面説明	18
4.4	使用方法	18
5	量産時に必要な書き込みデータについて	19
5.1	量産用書き込みデータ概要	19
5.2	CD-ROM 領域データ仕様	19
5.3	可変秘匿領域データ仕様	20
5.4	固定秘匿領域データ仕様	20
5.5	G1 秘匿領域データ仕様	21
5.6	リムーバブルディスク領域データ仕様	22
5.7	UDRW G2 デバイス設定ファイル仕様	22
5.8	その他	23
6	連絡先	24

1 ソフトウェア概要

1.1 パッケージ内容

UDRW G2 Starter Kit には、以下パッケージが含まれます。

パッケージ内容		内容説明
Application Package	Writing Software(UD Creator)	UDRW G2 の CD-ROM 領域に、アプリケーションやコンテンツを書き込むためのソフトウェア
	SetupUtility	UDRW G2 のサブクラスやオートラン時間の設定ができるソフトウェア
	固有 ID Reader	UDRW G2 の固有IDを読み取り、表示するためのソフトウェア
	DeviceChecker	UDRW G2 のデバイス情報をファイルに出力するためのソフトウェア
	UD-RUN	Windows98SE,ME でオートランを擬似的に実行させるソフトウェア
	Windows98SE Driver	Windows98 Second Edition 上で利用する為のデバイスドライバ
ドキュメント	UDRW G2_Application_Manual	UDRW G2 Software について記載したマニュアル(本マニュアル)
	UDRW G2_Device_Specifications	UDRW G2 デバイス仕様について記載した仕様書

1.2 システム要件

各ソフトウェアは以下の要件を満たしている必要があります。

1.2.1 Writing Software / SetupUtility / 固有 IDReader のシステム要件

対応機種	<ul style="list-style-type: none"> - PC/AT 互換品 - Pentium100MHz 以上の CPU を搭載したモデル - USB インターフェイスを標準搭載 PC - 50MB 以上のハードディスク空き容量(インストール時) (書き込み時には、書き込みデータ以上のハードディスク空き容量が必要)
対応 OS	Windows 2000 Professional Service Pack3,4 *1
	Windows XP *1

*1 Administrator 権限を持つユーザーアカウントに対応します。

1.2.2 UD-RUN のシステム要件

対応機種	<ul style="list-style-type: none"> - PC/AT 互換品 - Pentium100MHz 以上の CPU を搭載したモデル - USB インターフェイスを標準搭載 PC
対応 OS	Windows 98 Second Edition
	Windows Me

1.2.3 Windows 98SE Driver のシステム要件

対応機種	<ul style="list-style-type: none"> - PC/AT 互換品 - Pentium100MHz 以上の CPU を搭載したモデル - USB インターフェイスを標準搭載 PC
対応 OS	Windows 98 Second Edition

2 Writing Software について

概要

Writing Software は UDRW G2 へ CD-ROM 領域データ(ISO イメージデータ)、秘匿領域データを書き込むソフトウェアです。

Software 構成

Writing Software は以下の 2 つのアプリケーションから構成されています。

アプリケーション	アプリケーション概要
UD Creator	UD Creator は UDRW G2 へ書き込みするデータを ISO9660 形式のイメージファイルとして出力し、実際にデバイスヘータを書き込む「UD Update」を作成するソフトウェアです。
UD Update	UD Creator で作成された ISO9660 形式のイメージファイルと秘匿領域用のバイナリファイルを、デバイスの CD-ROM 領域に書き込むソフトウェアです。

2.1 UD Creator について

2.1.1 概要

UD Creator は UDRW G2 へ書き込むデータを ISO9660 形式のイメージファイルとして出力し、実際にデバイスヘータを書き込むアプリケーション「UD アップデート」の作成をするソフトウェアです。

2.1.2 ソフトウェア構成

UD Creator は、以下のファイルによって構成されます。

ファイル名	内容
UD Creator.exe	UD Creator 本体
data0.ud2	設定ファイル
Fmtcnv.exe	依存ファイル
mfc.dll	
msvcr71.dll	
msvcpr71.dll	

2.1.3 画面説明

UD Creator 画面/画面説明を以下に記載します。



各項目の説明		内容
デバイスへ書き込み時の容量目安		デバイスへ書き込みを行った時の、容量の目安を表示します。 製品の性質上、表示容量とデバイスへ書かれた各容量が異なることがあります。
		CD:: CD-ROM 領域のサイズ
		Ram: リムーバブル領域のサイズ
		Hidden: 可変秘匿領域のサイズ ※最低容量 1MB が設定されます。
		Reserved: UDRW G2 に予約され、すでに使われているサイズを表示します。製品の性質上変更することは出来ません。
フォルダ/ISO ファイル	エディットボックス	CD-ROM 領域に書き込む ISO ファイル/フォルダのパスを表示します。
	フォルダボタン	CD-ROM 領域に書き込む ISO ファイル/フォルダを選択します。
秘匿ファイル	エディットボックス	可変秘匿領域に書き込むバイナリファイルのパスを表示します。
	フォルダボタン	可変秘匿領域に書き込むバイナリファイルを選択します。
使用デバイスの容量		お客様のご使用になられるデバイスの容量を選択してください。
ボリュームラベル		CD-ROM 領域に付けるボリュームラベル名です。 フォルダを選択したときのみ有効になります。
秘匿領域		可変秘匿領域を確保することができます。 秘匿ファイル以上の容量をしてください。
開始		この「開始」ボタンをクリックすることにより、「ISO データ」、 「UD アップデート」が作成されます。

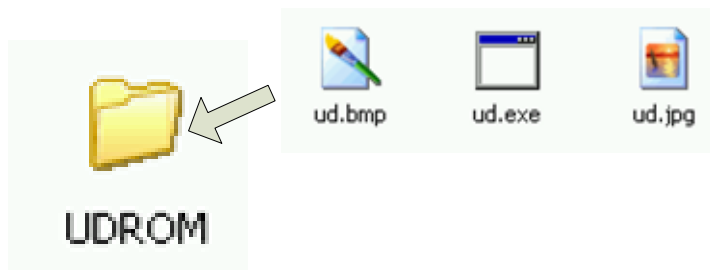
2.1.4 使用方法

1. 書き込みデータの準備

●CD-ROM 領域データ/フォルダ

CD-ROM へ書き込むファイルを一つのフォルダにまとめて下さい。

例) : UDROM[フォルダ]へ、ud.jpg、ud.bmp、ud.exe ファイルを入れる。



●秘匿領域データ

可変秘匿領域に書き込むデータは、バイナリファイルで拡張子を.bin にして下さい。 例)ud.bin

注: CD-ROM に書き込むデータと可変秘匿領域に書き込むデータを一緒のフォルダ内に入れないでください。

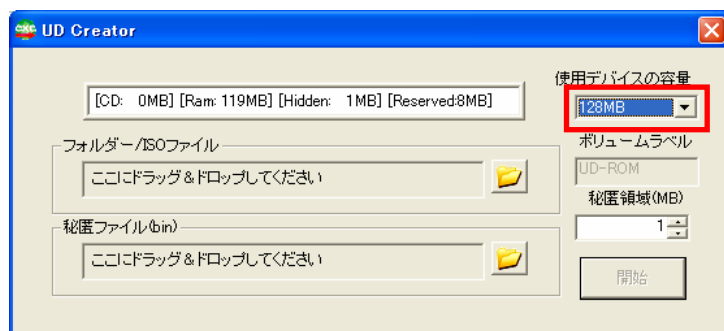
2. UD Creator 起動

「UD Creator.exe」を起動します。



3. 使用デバイス容量の選択

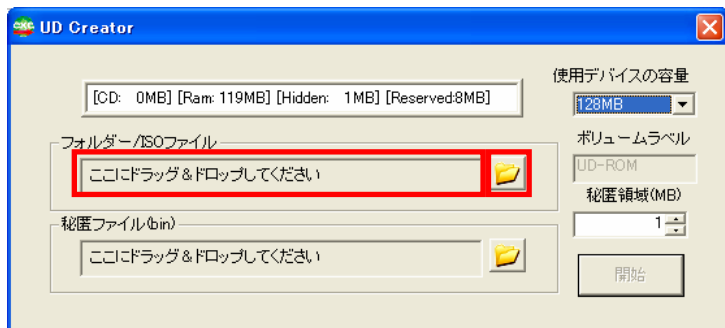
UDRW G2 のメモリ容量を選択します。



4. CD 領域に書き込むデータの選択

1. 書き込みデータの準備にて作成したフォルダを選択します。

選択の方法は、“ここにドラッグ&ドロップしてください”と書いてあるエディットボックス内にドラッグ & ドロップするか、フォルダアイコンをクリックして、1.書き込みデータの準備で作成したフォルダを選択してください。



※Reserved は、UDRW G2 に予約された領域で製品の仕様上変更することが出来ません。

5. ボリュームラベル名入力

CD-ROM 領域に書き込むデータの選択時にフォルダを選択した場合のみ、ボリュームラベルをつけることができます。

16 文字以下の半角英数文字*1 を入力してください。デフォルトでは”UD-ROM”となっています。

(ボリュームラベルとは OS で CD,ディスク等のボリュームに付ける名前です)



注意: ボリュームラベル名に以下の文字コード及びマルチコード(全角文字)は指定できません。

また半角 17 文字以上は指定できません。

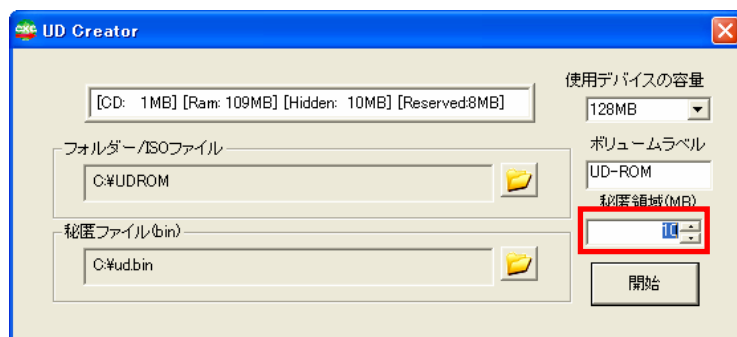
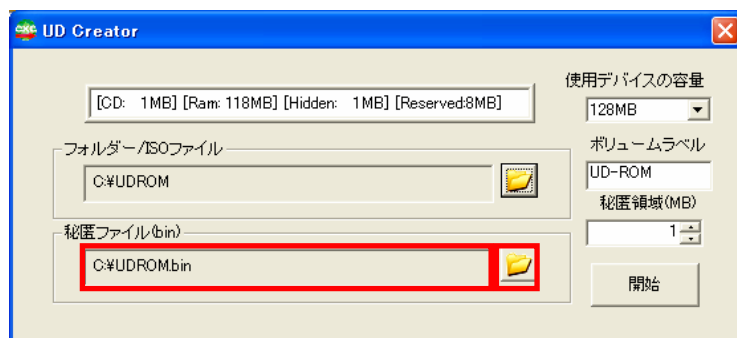
¥ / : , ; * ? ” < > |

6. 可変秘匿領域の設定とデータの書き込み

可変秘匿領域を使用する場合は、秘匿領域の設定を行います。

CD-ROM 領域のデータ選択と同様の手順で、バイナリファイルを選択します。

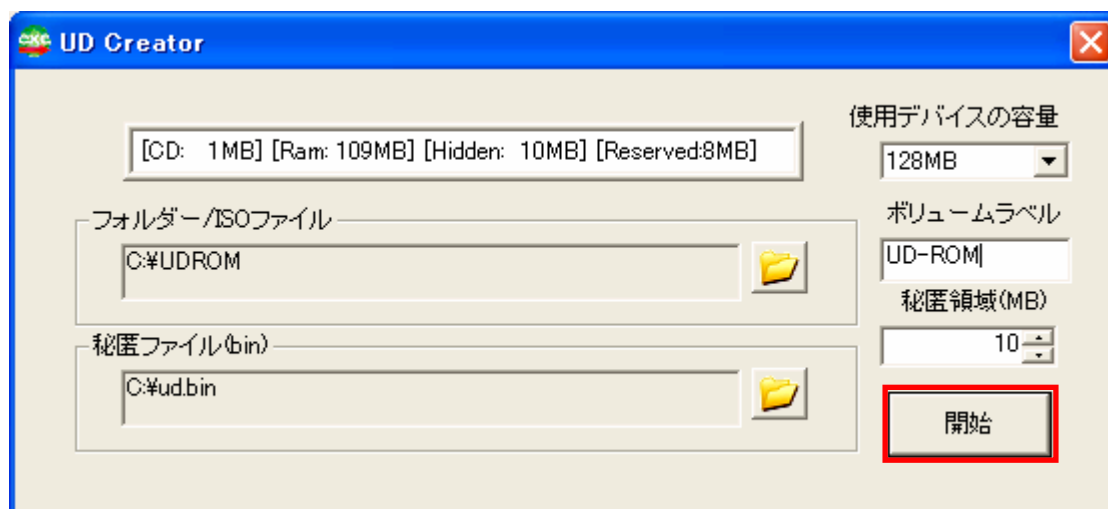
ファイルの容量より大きい領域を確保したい場合には、秘匿領域(MB)の値に確保したい可変秘匿領域全体の容量を入力してください。正しく選択すると、作成される可変秘匿領域の容量の目安が表示されます。



7. UD Update の作成

これまでの項目がすべて設定完了した事を確認後、「開始」ボタンをクリックしてください。

選択されているフォルダは ISO イメージへ変換し、「UD Creator.exe」がインストールされているフォルダ内に UDUpdate フォルダを自動的に作成し、アプリケーション「UD Update」を出力します。



UDUpdate フォルダ内に作成されるファイルは、以下のファイルが作成されます。

ファイル名	内容
UDUPDATE.exe	UD アップデート本体
UDRW.iso	CD-ROM 書き込み用データ
UDRW.bin	可変秘匿領域書き込み用データ(選択時のみ)

以上で UDRW G2 へ書き込む CD-ROM 領域データ(ISO9660 イメージ)の作成は終了です。

製品の性質上、表示容量とデバイスへ書かれた各容量が異なることがあります。

2.2 UD Update について

2.2.1 概要

UD Update は UDRW G2 へ CD-ROM 領域、秘匿領域データを書き込むためのアプリケーションです。

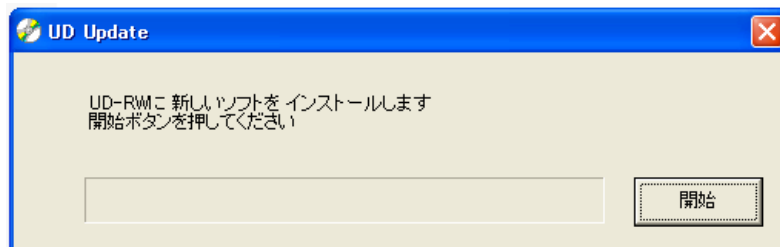
UD Update は UD Creator により作成されます。

2.2.2 ソフトウェア構成

ファイル名	内容
UDUPDATE.exe	UD アップデート本体
UDRW.iso	CD-ROM 書き込み用データ
UDRW.bin	秘匿領域書き込み用データ(選択時のみ)

2.2.3 画面説明

UD Update 画面/画面説明を以下に記載します。



各項目の説明	内容
開始ボタン	UDRW G2 ヘーダの書き込みを開始します。

2.2.4 使用方法

1. ソフトウェアの実行

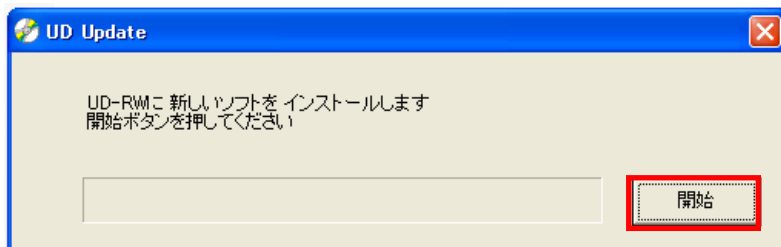
デバイス接続後、「UDUPDATE.exe」を実行します。



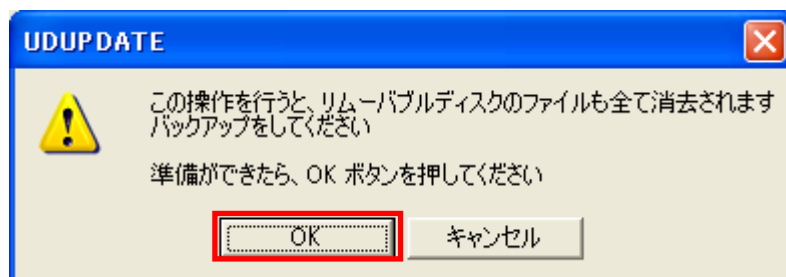
2. 書き込み開始

「開始」ボタンを押してください。

UDRW G2 ヘータ(CD-ROM 領域データ UDRW.iso/ 秘匿領域データ UDRW.bin)の書き込みを開始します。



下記のポップアップが表示されますので、「OK」ボタンを押してください。



「CD を更新しました」と表示されれば書き込み成功です。デバイスを PC から取り外してください。

以上で UDRW G2 へのデータ書き込みは終了です。

3 SetupUtility について

3.1 概要

SetupUtility は UDRW G2 の各種機能設定をすることができるソフトウェアです。

- **表示ドライブ設定**

マイコンピュータ上に表示されるドライブを設定できます。

- **ソフトウェアオートラン時間設定**

CD-ROM 領域のソフトウェアが起動するまでの時間を設定できます。

- **Inquiry 情報設定**

Inquiry 情報(デバイスの表示名)の設定を変更できます。



- **USB Subclass 設定**

USB Subclass の設定を変更できます。BIOS で USB CD からの BOOT をサポートしているパソコンで、動作しなかった場合に、変更する事で動作する事があります。

- **リムーバブルディスクドライブ Lock 機能設定**

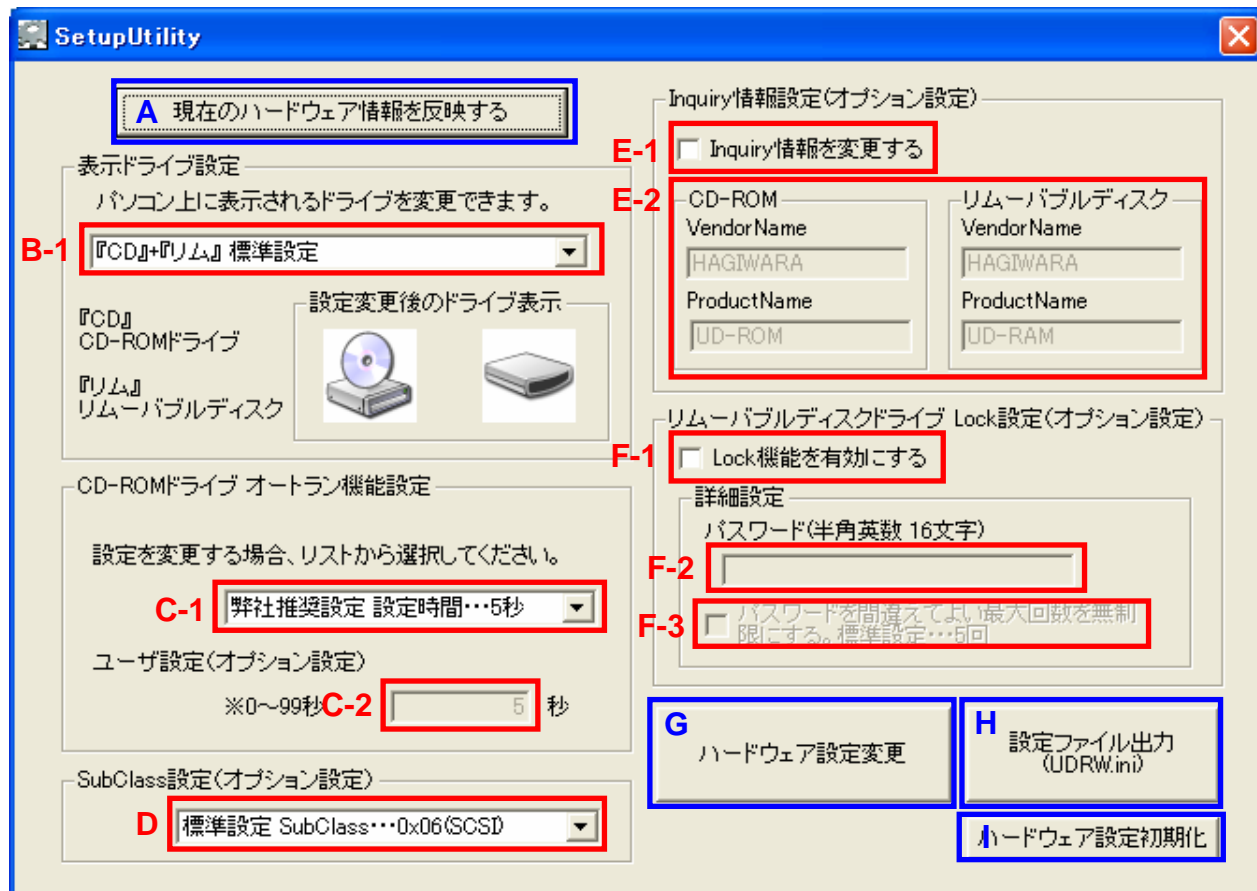
リムーバブルディスクドライブのロック機能を設定します。ロック機能を有効にする事で、デバイス取り付け時に、領域へのアクセスをできなくし、パスワード認証によってアクセスを可能にします。誤ったパスワードの入力回数をカウントする機能があり、設定時に指定回数以上間違えると、パスワードを受け付けなくすることも可能です。

3.2 ソフトウェア構成

本ソフトウェアは以下のファイルによって構成されます。

ファイル名	内容
SetupUtility.exe	実行ファイル

3.3 画面の説明



A デバイス情報表示

A 現在のハードウェア情報を反映する	パソコンに接続されているハードウェアの情報を、画面上の設定に反映させます。
--------------------	---------------------------------------

B ドライブ設定

機能：マイコンピュータ上に表示されるドライブを設定できます。

B 表示ドライブ設定 ボックス	『CD』+『リム』標準設定	マイコンピュータ上に、CD-ROM ドライブ、リムーバブルディスクが表示されます。 *特別な設定が必要でない場合はこちらを選択してください。
	『CD』+『リム』 USB CD-ROM ブート対応設定	マイコンピュータ上に、CD-ROM ドライブ、リムーバブルディスクが表示されます。 *USB によるブートが目的の場合、こちらを選択してください。 *本機能を使用する場合、ご使用のパソコンのBIOS 設定が必要です。
	『CD』のみ	マイコンピュータ上に、CD-ROM ドライブのみ表示されます。
	『リム』のみ	マイコンピュータ上に、リムーバブルディスクのみ表示されます。 *UDRW G2 を一般の USB メモリとして使用したい場合、こちらを選択してください。

*表示ドライブを「CD のみ」に設定した場合、「Writing Software」を使用して CD-ROM データの書き換えは出来ません。

C オートラン機能設定

機能: CD-ROM 領域のソフトウェアが起動するまでの時間を設定できます。

C-1 オートラン機能設定 ボックス	弊社推奨設定 設定時間・・・5 秒	弊社が推奨する時間 5 秒が自動でセットされます。
	ユーザ設定	時間を自由に設定できます。(設定可能範囲 0～99 秒)
	ブートデバイス設定	「表示ドライブ」の「『CD』+『リム』USB CD-ROM ブート対応設定」を選択した場合、強制的にこの設定になります。
C-2 オートラン時間 設定ボックス	設定ボックスに範囲内の時間を入力してください。 *「オートラン機能設定ボックス」で「ユーザ設定」を選択した場合、	

*オートラン設定は使用される環境により、正常に動作しない場合があります。

D SubClass 設定(オプション設定)

機能: USB SubClass の設定を変更できます。

D SubClass 設定 ボックス	SCSI (標準設定 SubClass・・・0x06)	SubClass を 0x06 (SCSI) に設定します。
	ATAPI (オプション設定 SubClass・・・0x02)	SubClass を 0x02 (ATAPI) に設定します。

E Inquiry 情報設定(オプション設定)

機能: Inquiry 情報の設定を変更できます。

E-1 Inquiry 設定変更 チェックボックス	チェックボックスにチェックを入れると、下のボックスより各ドライブの Inquiry 情報が変更可能になります。 *チェックボックスにチェックを入れない場合、Inquiry 情報は変更されません。		
E-2 Inquiry 変更ボックス	CD-ROM	Vendor Name	Vendor Name を入力して下さい。 *8 文字以内、半角英数、「-」、「_」、スペースのみ設定可能
		Product Name	Product Name を入力して下さい。 *16 文字以内、半角英数、「-」、「_」、スペースのみ設定可能
	Removable Disk	Vendor Name	Vendor Name を入力して下さい。 *8 文字以内、半角英数、「-」、「_」、スペースのみ設定可能
		Product Name	Product Name を入力して下さい。 *16 文字以内、半角英数、「-」、「_」、スペースのみ設定可能

F リムーバブルディスク領域 Lock 設定(オプション設定)

機能:リムーバブルディスク領域のロック機能を設定します。

*本設定は、リムーバブルディスク領域のドライブロック機能を設定します。この機能を制御するアプリケーション開発に関し、別売りの「UDRW G2 Development Kit」が必要です。

*本設定を有効にした場合、リムーバブルディスク領域にアクセス出来ません。領域へアクセスしたい場合(ロック解除)、Lock 設定変更チェックボックスのチェックを外してください。

F-1 Lock 設定変更 チェックボックス	チェックボックスにチェックを入れると、ハードウェアのリムーバブルディスクドライブのロック機能が有効になります。 *チェックボックスにチェックを入れない場合、ロック機能は無効になります。
F-2 パスワード設定 ボックス	リムーバブルディスク領域をアクセス可能にする(ロック解除)際に使用するパスワードを入力して下さい。
F-3 パスワード間違えてよい最大回 数変更ボックス	パスワードを間違えてよい最大の回数を設定します。

設定変更ボタン

G ハードウェア設定変更	画面上で設定した情報をハードウェアに書き込みます。 *設定を反映させるには、ハードウェアを一度パソコンから抜く必要があります。
H 設定ファイル出力(UDRW.ini)	画面上に設定した情報をファイルに出力します。 実行ファイルと同じフォルダに「UDRW.ini」ファイルが出来ます。
I ハードウェア設定初期化	本ソフトウェアで設定可能な機能を、初期状態(出荷状態)に戻します。 *CD-ROM、リムーバブルディスク領域内に保存されているデータは削除しません。

3.4 使用方法

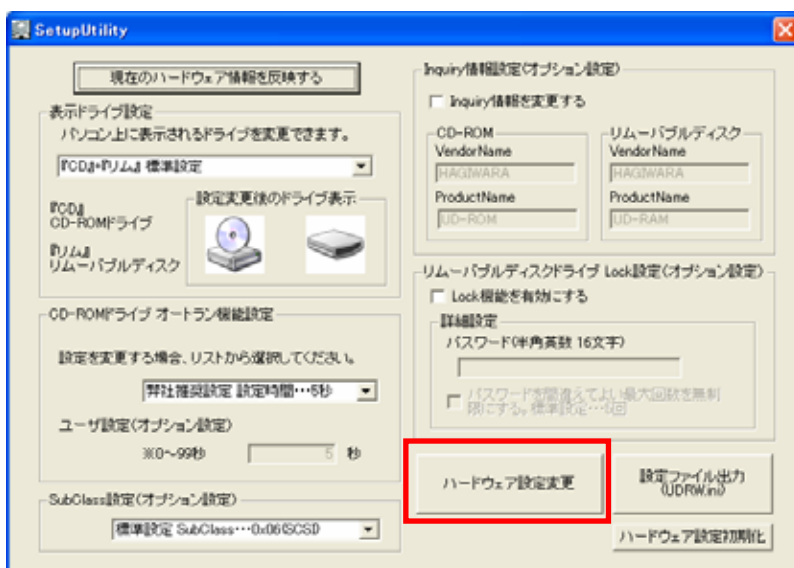
□ デバイス設定変更方法

1. UDRW G2 をパソコンへ接続後、「SetupUtility.exe」を起動します。



SetupUtility.exe

2. 設定を変えたい、項目を変更してください。
3. 設定の変更が終わったら、「ハードウェア設定変更」ボタンをクリックしてください。



以上で、設定完了です。

□ デバイスの初期化方法

次の操作を行うことにより、デバイスを初期状態(出荷状態)に戻すことができます。

1. UDRW G2 をコンピュータに取り付けた後、「SetupUtility.exe」を起動します。
2. 設定の変更が終わったら、「ハードウェア設定初期化」ボタンをクリックしてください。

以上で、完了です。デバイスは初期状態に戻ります。

4 固有 ID リーダーについて

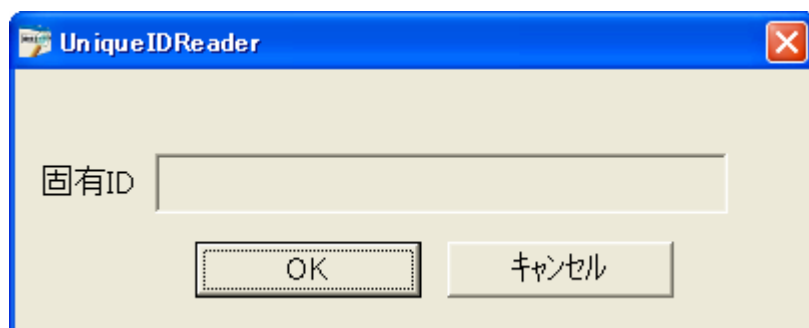
4.1 概要

固有 ID リーダーは、UDRW G2 の固有IDを表示するソフトウェアです。
主にアプリケーション開発の際に動作を確認するために使用します。

4.2 ソフトウェア構成

ファイル名	内容
IDReader.exe	固有 ID リーダー本体

4.3 画面説明



各項目の説明	内容
固有 ID 表示ボックス	デバイスより読み出した固有 ID を表示します。
OK ボタン	「固有 ID 表示ボックス」に接続されているデバイスの固有 ID を表示させます。

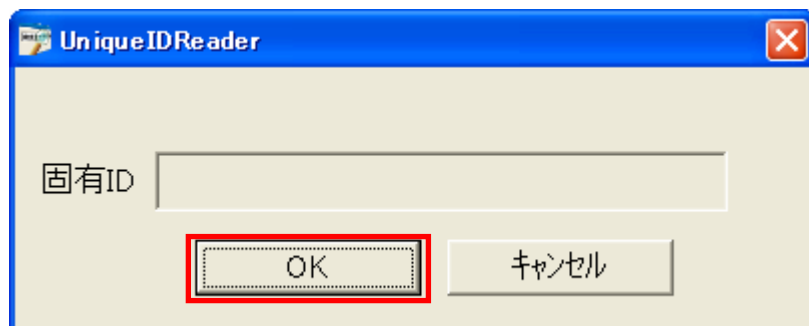
4.4 使用方法

1. UDRW G2 をパソコンに取り付けます。
2. ID Reader を起動します。



IDReader

3. [OK] をクリックしたら、デバイスの固有 ID を表示します。



5 量産時に必要な書き込みデータについて

5.1 量産用書き込みデータ概要

UDRW G2 を量産する際には、CD-ROM 領域データ、秘匿領域データ、デバイス設定ファイルを弊社へ提供して頂きます。

ファイル名	内容
UDRW.ini	UDRW G2 SetupUtility で出力するデバイス設定ファイル
00000000.iso	CD-ROM 書き込み用データ(必要な場合のみ)
G 00000000.bin	可変秘匿領域書き込み用データ(必要な場合のみ)
A00000000.bin	固定秘匿領域書き込みデータ(必要な場合のみ)
00000000.bin	G1 秘匿領域書き込み用データ(必要な場合のみ)
フォルダ名 00000000	リムーバブルディスク領域書き込みデータ(必要な場合のみ)

上記データをフォルダ名「data」へ入れてください

例)data フォルダ内データ

 00000000	ファイル フォルダ
 00000001	ファイル フォルダ
 00000002	ファイル フォルダ
 00000000.bin	0 KB BIN ファイル
 00000001.bin	0 KB BIN ファイル
 00000002.bin	0 KB BIN ファイル
 A00000000.bin	0 KB BIN ファイル
 A00000001.bin	0 KB BIN ファイル
 A00000002.bin	0 KB BIN ファイル
 G00000000.bin	0 KB BIN ファイル
 G00000001.bin	0 KB BIN ファイル
 G00000002.bin	0 KB BIN ファイル
 00000000.iso	0 KB ISO ファイル
 00000001.iso	0 KB ISO ファイル
 00000002.iso	0 KB ISO ファイル
 UDRW.ini	0 KB 構成設定

5.2 CD-ROM 領域データ仕様

UDRW G2 へ書き込む CD-ROM 領域データ仕様について以下に記載する。

CD-ROM 領域データ 作成方法	弊社提供 Writing Software で ISO9660 ファイルの作成が可能です。 詳細は『項目 UD Creator について』をご確認ください。
CD-ROM 領域データ ファイル名規定	すべての UDRW G2 へ同じ CD-ROM 領域データを書き込む場合
	ファイル名は半角英数にて「00000000.iso」としてください。
	すべての UDRW G2 へ異なる CD-ROM 領域データを書き込む場合 ファイル名は半角数字 8 桁とし、00000000.iso からデバイス数量分の連番(10 進)を付けてください。 例)00000000.iso/00000001.iso/00000002.iso
CD-ROM 領域データ フォーマット規定	ISO9660 ファイル形式(.iso) 弊社提供 UD Creator で作成された ISO9660 イメージファイルのみ対応致します。 (注)それ以外の Tool で作成されて ISO9660 イメージは弊社では動作保証致しません。

5.3 可変秘匿領域データ仕様

UDRW G2 へ書き込む秘匿領域データ仕様について以下に記載する。

可変 秘匿領域データ ファイル名規定	すべての UDRW G2 へ同じ秘匿領域データを書き込む場合
	ファイル名は半角英数にて「G000000000.bin」としてください。
	すべての UDRW G2 へ異なる秘匿領域データを書き込む場合
	<p>ファイル名は半角英数 9 桁とし、G000000000.bin からデバイス数量分の連番(10 進)をつけてください。</p> <p>先頭の 1 桁目は、その他の秘匿領域と区別するため、大文字の「G」をつけてください。</p> <p>1つのファイルへ UDRW G2 1台分の秘匿領域データを入力してください。</p> <p>例) G000000000.bin/ G000000001.bin/ G000000002.bin</p>
可変 秘匿領域データ フォーマット規定	バイナリファイル形式(.bin)
	<p>バイナリファイルへは貴社ご指定の秘匿領域データのみ入力してください。</p> <p>UDRW G2_Development_Kit に秘匿領域データサンプル(HiddenSampleData.bin)が添付しておりますのでご確認ください。</p>
その他	<p>可変秘匿領域データサイズが出荷後増減するものについては、提供秘匿領域データサイズを考えられる最大サイズにし送りください。</p> <p>例) 初期実データ: 1MB 可変秘匿領域最大増加サイズ: 10MB の場合 初期実データ 1MB 以外の 9MB に適当なデータを入れ、10MB のファイルをご提供願います。</p>

5.4 固定秘匿領域データ仕様

UDRW G2 へ書き込む固定秘匿領域データ仕様について以下に記載する。

固定 秘匿領域データ ファイル名規定	すべての UDRW G2 へ同じ固定秘匿領域データを書き込む場合
	ファイル名は半角英数にて「A000000000.bin」としてください。
	すべての UDRW G2 へ異なる固定秘匿領域データを書き込む場合
	<p>ファイル名は半角英数 9 桁とし、A000000000.bin からデバイス数量分の連番(10 進)をつけてください。</p> <p>先頭の 1 桁目は、その他の秘匿領域と区別するため、大文字の「A」をつけてください。</p> <p>1つのファイルへ UDRW G2 1台分の秘匿領域データを入力してください。</p> <p>例) A000000000.bin/ A000000001.bin/ A000000002.bin</p>
固定 秘匿領域データ フォーマット規定	バイナリファイル形式(.bin)
	<p>バイナリファイルへは貴社ご指定の固定秘匿領域データのみ入力してください。</p> <p>UDRW G2_Development_Kit に秘匿領域データサンプル(HiddenSampleData.bin)が添付しておりますのでご確認ください。</p>
その他	固定秘匿領域のデータサイズは 512Byte 固定です。

5.5 G1 秘匿領域データ仕様

UDRW G2 へ書き込む G1 秘匿領域データ仕様について以下に記載する。

G1 秘匿領域データ ファイル名規定	すべての UDRW G2 へ同じ G1 秘匿領域データを書き込む場合
	ファイル名は半角英数にて「00000000.bin」としてください。
	すべての UDRW G2 へ異なる (G1) 固定秘匿領域データを書き込む場合
	<p>ファイル名は半角英数 8 桁とし、00000000.bin からデバイス数量分の連番(10 進)をつけてください。</p> <p>1つのファイルへ UDRW G2 1台分の(G1)固定秘匿領域データを入力してください。</p> <p>例)00000000.bin/00000001.bin/00000002.bin</p>
G1 秘匿領域データ フォーマット規定	バイナリファイル形式(.bin)
	<p>バイナリファイルへは貴社ご指定の秘匿領域データのみ入力してください。</p> <p>UDRW G2_Development_Kit に秘匿領域データサンプル(HiddenSampleData.bin)が添付しておりますのでご確認ください。</p>
その他	<p>G1 秘匿領域のデータサイズは 1024Byte 固定です。</p> <p>1024Byte 以上のデータが存在した場合、1024Byte 以上のデータは書き込まれません。</p>

5.6 リムーバブルディスク領域データ仕様

UDRW G2 へ書き込むリムーバブルディスク領域データ仕様について以下に記載する。

リムーバブルディスク 領域データ フォルダ名規定	すべての UDRW G2 へ同じリムーバブルディスク領域データを書き込む場合
	フォルダ名は半角英数にて「REM」とし、フォルダ内へ書き込むファイルを保存してください。
	すべての UDRW G2 へリムーバブルディスク領域データを書き込む場合
	フォルダは半角英数 8 桁とし、00000000 からデバイス数量分の連番(10 進)をつけてください。 1つのフォルダへ UDRW G2 1台分のリムーバブルディスクデータを保存してください。 例)00000000/00000001/00000002
リムーバブルディスク 領域データ フォーマット規定	フォルダ内データ形式
	指定最大アドレス長は 250 文字とします。
その他	リムーバブルディスク領域に書き込むデータが、デバイス容量より多くならないように注意してください。

5.7 UDRW G2 デバイス設定ファイル仕様

デバイス設定ファイル 作成方法	UDRW G2 Starter Kit に添付されている UDRW G2 SetupUtility で作成可能です。 ファイル名は「UDRW.ini」としてください。 作成方法はマニュアルの 3 章をご覧ください。
--------------------	---

5.8 その他

<p>CD-ROM 領域データと秘匿領域データの組み合わせ規定</p>	<p>秘匿領域データ、CD-ROM 領域データを指定し、デバイスへ書き込む場合、それぞれのファイル名を同一にしてください。同一名のファイルを同じデバイスへ書き込みます。</p> <p>例)デバイス 1 ←00000001.iso と 00000001.bin 書き込み デバイス 2 ←00000002.iso と 00000002.bin 書き込み デバイス 3 ←00000003.iso と 00000003.bin 書き込み</p>
<p>書き込みデータ送付規定</p>	<p>デバイス設定ファイルと貴社指定のデータを、それぞれデータ規定に合わせて CD-ROM に入れて頂き、弊社へ送付して頂きます。</p> <p>指定可能データ -CD-ROM 領域データ -可変秘匿領域データ -固定秘匿領域データ -G1 固定秘匿領域データ -リムーバブルディスク領域データ</p> <p>送付して頂いたデータを弊社で UDRW G2 へ書き込みます。</p> <p>(注 1)規定を満たさない形式の場合、再度作成をお願いする場合がありますがご了承ください。 (注 2)弊社でも万全を期しておりますが、お客様のほうでも送付データのウィルスチェックをして頂く様にお願い致します。</p>

6 連絡先

ウェブサイト: <https://www.udrw.com/>

UDRW G2 に関するお問合せ窓口

日本語 <https://www.udrw.com/jp/inq/form2.php>

他言語 <https://www.udrw.com/en/inq/form2.php>

UDRW G2 技術サポート窓口

日本語 <https://www.udrw.com/jp/inq/form3.php>

他言語 <https://www.udrw.com/en/inq/form3.php>